

【新着情報】

「NIES CRM No.34 アオコ ($^{15}\text{N-MC}$)」および「NIES CRM No.35 アオコ ($^{15}\text{N-CYN}$)」の頒布を開始しました

アオコとは、藍藻（シアノバクテリア）と呼ばれる植物プランクトンが富栄養化した湖沼などで異常に増殖し、水面に集積したもので「水の華」とも呼ばれます。きれいな物のように聞こえますが、アオコを形成する藍藻の中には有毒な種類もあり、WHOでもアオコの有毒物質の基準値を設定しています。本CRMは、アオコの主な有毒物質である、ミクロシスチンおよびシリンドロスポーモプシンについて、その分析を行う際の精度管理や分析精度向上のために開発されました。安定同位体 (^{15}N) で標識されているため、従来の手法より精度良く測定できることが特徴です。

容量：10mg（遠沈管入り）、価格：66,000円（税込）



CRMのご紹介

No.10-d 玄米粉末

苗を植えるところから作製を行いました

環境試料は化学組成が極めて複雑なため、試料の前処理や測定が難しく、単純な標準溶液を用いたのではなかなか正しい分析値を求めることができません。このような場合には分析試料と化学組成がよく似た標準物質を用いることにより、分析値の正確さを向上させることができます。

日本では、お米のカドミウム濃度の基準値が0.4mg/kg以下（玄米および精米）と設定されています。NIES CRM No.10-d（玄米粉末）の作製では、自然な形で米にカドミウムを取り込ませるため、栽培過程でカドミウム溶液を根から吸収させて、玄米中のカドミウム濃度が0.4mg/kgになるようにしました。本CRMは、8元素について認証値、5元素について参考値が与えられています。

容量：15g（瓶入り）、価格：33,000円（税込）



出展のご案内

第30回環境化学討論会で環境標準物質および環境試料タイムカプセルの展示を行います

環境化学物質 3 学会合同大会（日本環境化学会、日本内分泌攪乱化学物質学会（環境ホルモン学会）、日本環境毒性学会）にて、展示を行います。ぜひブースまで遊びに来てください！

日時：2022年6月14日(火)～16日(木)

場所：富山国際会議場

〒930-0084 富山市大手町1番2号

URL：<https://www.j-ec.or.jp/conference/30th/index.html>

「こんな標準物質が欲しい。」といったご意見を下記 E-mail アドレスまでお寄せください。今後も、皆様からのご意見、ご要望を反映させた環境標準物質を作製してまいります。

国立研究開発法人国立環境研究所
環境リスク・健康領域
基盤計測センター 環境標準物質
〒305-8506 つくば市小野川16-2
E-mail: nies.crm@nies.go.jp
FAX: 029-850-2900
URL:

<https://www.nies.go.jp/lab/crm/index.html>

